

第72期 第2四半期 株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日

目 次

社長メッセージ	1-2
決算概要、財務ハイライト...	3
部門別概況	4
トピックス	5
会社情報	6



社長メッセージ



世界の食の幸せに 貢献します

社会課題の解決を通じ
持続的な成長をめざします

代表取締役社長

石 脇 智 広

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(2021年4月～2021年9月)は、新型コロナウイルス感染拡大による2度目の緊急事態宣言発出により、当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても依然として厳しい経営環境が続きました。長引く新型コロナウイルス感染拡大により新しい生活様式が拡がる中、当社グループは、テレワークやオンライン会議を利用し非対面での営業活動を積極的に行い、また、ITを利用した業務改善にも取り組んでまいりました。生活様式の変化により生じた家庭用市場の拡大にも対応するべく新規開拓も積極的に行いました。その結果、コーヒー・飲料部門においては、コーヒーバッグ等家庭用商品の売上が増加、食品部門においても、弁当・総菜等中食に力をいれ売上をのばしました。また、日本食の輸出等を行っている海外事業部門においても、アジア及び欧州の主要顧客向け家庭用商品の輸出が順調に増加し、グループ全体として、売上高21,951百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は399百万円となりました。昨年連結子会社化した東京アライドコーヒーロースターズ(株)の第1四半期である3カ月分の業績が前年同期(2020年4月～2020年9月)には含まれていないこともあり、売上高、利益ともに前年同期を上回っております。

中期経営計画「iプロジェクト」の進捗状況

今期は、2019年に策定した3カ年の中期経営計画「i(アイ)プロジェクト」の最終年度です。iプロジェクトでは、経済的価値と社会的価値の両立に向けた仕組みづくりに取り組んでまいりました。

経済的価値については、当初掲げた数値目標達成に向けて順調に推移しています。コーヒー業界でも有数の製造量を誇る東京アライドコーヒーロースターズ(株)の連結子会社化の影響もありますが、コロナ禍の厳しい状況においても、当社の商品を支持し続けてくださったお取引先様、お客様に加え、販売及び販売支援に懸命の努力を続けた社員のおかげであります。

社会的価値の向上については、まずはそれを意識することから始めました。社員全員参加のSDGsワークショップの開催、社会問題に関する情報共有の強化などを経て、社員1人1人の意識によりやく根付いてきたように思います。世の中の「困った」を当社の知恵と技術を使って解決しよう、そんな取り組みもグループ全体で増えてきており、将来に向けて良い企業風土ができてつつあることを感じております。

現在私たちは次の中期計画の検討を始めています。今回は、まずは「2050年にありたい姿」を描き、それに近づくためのマイルストーンとして2030年の目標を立て、その目標を達成するための最初の3カ年としての中期経営計画を策定しています。今まで以上に大きな経済的価値、社会的価値を創出できるように取り組みを進めてまいります。

株主のみならずにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画 i(アイ)プロジェクト

2020年3月期(2019年度)～2022年3月期(2021年度)

- 社員1人1人が主体的に(I(アイ))
- innovative(革新的)に
- 愛(アイ)情をベースに

経済的価値

社会的価値

両立にむけて

- ① 事業・組織・商品の新陳代謝促進の仕組み作り強化
- ② いつでもどこでも働ける仕組み作り(ノマドワーク推進)
- ③ 従業員エンゲージメントの向上
- ④ 多様な人財、人財力強化
- ⑤ 健康経営推進

決算概要、財務ハイライト

当第2四半期(2021年4月1日～2021年9月30日)決算概要

売上高

21,951 百万円

営業利益

575 百万円

経常利益

598 百万円

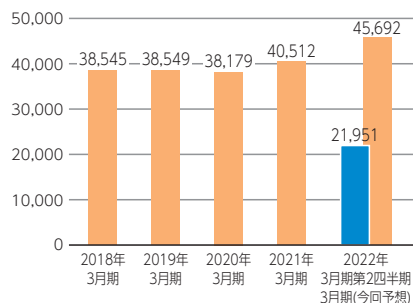
親会社株主に帰属する
四半期純利益

399 百万円

財務ハイライト

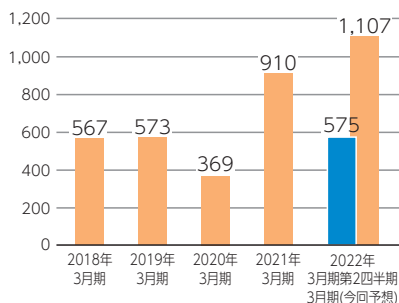
売上高

(百万円)



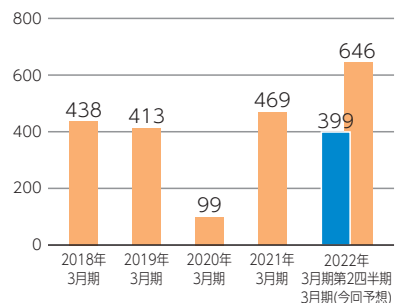
営業利益

(百万円)



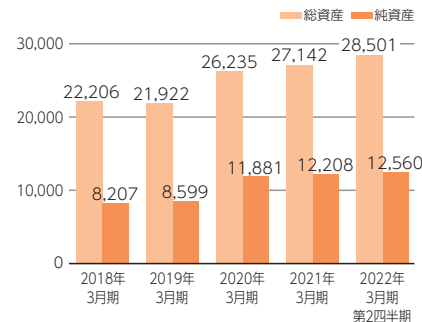
親会社株主に帰属する(四半期)当期純利益

(百万円)



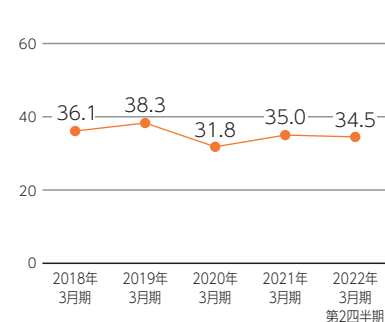
総資産 / 純資産

(単位:百万円)



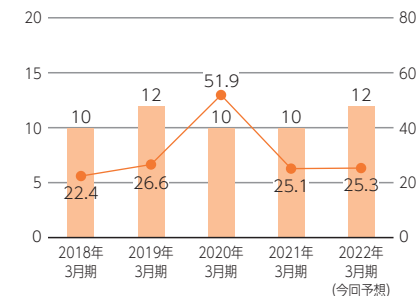
自己資本比率

(単位:%)



1株当たり配当金 / 配当性向(単体)

配当金(単位:円) 配当性向(単位:%)



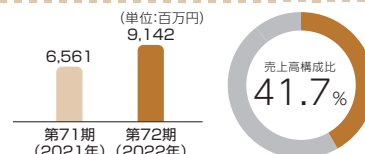
決算等に関する詳細情報は、
当社ホームページにてご確認ください。
<https://www.ishimitsu.co.jp/ir/>



部門別概況

コーヒー・飲料部門

売上高
91億4千2百万円



● コーヒー飲料原料

コーヒー生豆は、輸出が好調であり、また、通信販売や量販店向け及び自家焙煎店卸等の家庭用ルートが好調でした。紅茶等の飲料原料は、飲料向けの販売が好調でした。

● コーヒー飲料製品

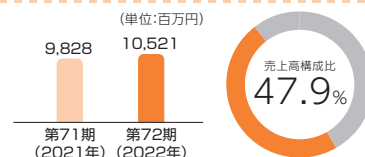
レギュラーコーヒーは、コーヒーバッグや原料用バルク商品の販売が好調でした。

これらの理由により、コーヒー飲料部門の売上高は9,142百万円と前年同期比39.3%増加となり、売上総利益は1,567百万円と前年同期比39.4%の増加となりました。

(前年同期には東京アライドコーヒーロースターズ㈱の第1四半期の業績が含まれておりません。)

食品部門

売上高
105億2千1百万円



● 加工食品

ドライ商品、フローズン商品、メーカー商品(ドライ・フローズンともに外食向け販売が回復に向かう)のいずれも売上高は前年同期を上回りました。

● 水産

エビ製品がテイクアウト需要、回転寿司チェーンに対する期間限定メニュー採用、外食向け回復により好調でした。

● 調理冷凍

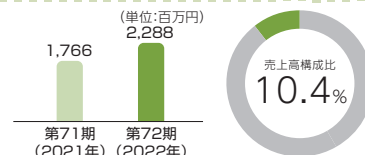
中食業界への営業努力により特にタイ産鶏肉加工品の販売が伸びました。

● 農産

生鮮野菜は、食品メーカー向けの玉葱の販売シェア拡大等があり、農産加工品は、新規得意先開拓等があり、販売が順調に増加いたしました。これらの理由により食品部門の売上高は10,521百万円と前年同期比7.1%増加となり、売上総利益は1,419百万円と前年同期比4.8%の増加となりました。

海外事業部門

売上高
22億8千8百万円



アジア及び欧州の主要顧客向けの輸出において巣ごもり需要に支えられ家庭用商品の輸出が順調に増加いたしました。また、コロナ禍から一早く立ち直った中国現地法人の好調により収益を押し上げました。

その結果、海外事業部門の売上は2,288百万円と前年同期比29.5%増加となり、売上総利益は447百万円と前年同期比72.7%の増加となりました。



12月1日発売

ドリップコーヒーバッグ 「地球にやさしいモカブレンド」 開発者にききました。

Q どのような商品か、教えてください。

A 気候変動がコーヒーの栽培地に影響を与えており、美味しいコーヒーが30年後に飲めなくなるかもしれません。未来も変わらず美味しいコーヒーをお届けできるよう、私たちが地球環境のためにできることは何かを考え、「環境にやさしい」「社会にやさしい」「やさしい味わい」を実現した商品をつくりました。コーヒーを抽出した後に残るコーヒー豆カスは通常は廃棄されますが、コーヒー豆カス等を原料としバイオ燃料とした「バイオコックス」を製造し、コーヒー豆の焙煎の燃料としました。このコーヒー抽出カスの循環型リサイクルを通じてコーヒー工場のCO₂排出削減をめざし、また、包材では、個包装フィルムはペットボトルを再利用したメカニカルリサイクルペットフィルムを、箱は古紙の配合率80%以上のリサイクル紙を利用し、「環境にやさしい」を実現しています。

ブレンドは、グレードの違う2種類のエチオピア(モカ)とコロンビア・ブラジルのラオスを使用、ほんのりフルーティーな香りがお楽しみ頂けます。また、バイオコックスで焙煎をすると長時間焙煎となりゆっくりじっくり焙煎されるため、口当たりのやわらかい「やさしい味わい」になっています。

Q その他、力をいれた点を教えてください。

A パッケージデザインに、SDGsのイメージカラーを取り入れたのでぜひご覧いただきたいです。鳥のイラストには、この商品を通じて生まれるやさしさや想いをのせ世界中に羽ばたいてほしいという願いも込めました。また、今後は、売上の一部にてモカの産地であるエチオピアに医療支援が行えるよう取り組みを進め、「社会にやさしい」も実現したいと思っています。

この冬、「やさしい」にあふれた味わいをお楽しみください！



石光商事株式会社
コーヒー製品チーム 齊藤明日樹

石光商事オンラインストア

ドリップコーヒーバッグ
「地球にやさしいモカブレンド」(8g×20袋入り)
12月1日発売



<https://store.ishimitsu-coffee.com/>

石光商事オンラインストア

検索

会社情報

2021年9月末現在

会社の概要

会社設立 1951年5月
会社名 石光商事株式会社
資本金 62,320万円
本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
従業員数 224名

取締役・監査役

代表取締役社長	石脇 智広
取締役副社長	中埜 晶夫
取締役	吉川 宗利
取締役	本間 孝三
取締役	小野 智昭
取締役	近藤 直
取締役	吉村 美紀
常勤監査役	草場 鉄郎
監査役	藤井 啓吾
監査役	板垣 克己

(注) 1 取締役 近藤 直氏及び吉村 美紀氏は、社外取締役であります。
2 監査役 藤井 啓吾氏及び板垣 克己氏は、社外監査役であります。

株式の状況

①発行可能株式総数	22,400,000株
②発行済株式総数	8,000,000株
③株主数	4,857名
④大株主	

株主名	持株数	持株比率
マリンフード株式会社	337千株	4.4%
石光商事従業員持株会	334	4.3
株式会社三井住友銀行	252	3.3
石光 輝男	238	3.1
駒澤 孝江	216	2.8
日米珈琲株式会社	204	2.6
株式会社トーホー	200	2.6
株式会社みなと銀行	194	2.5
丸紅株式会社	192	2.5
石光 輝信	179	2.3

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(292,040株)を控除して算出しております。

株式分布状況

所有者別	株主数	所有株数
金融機関	7名 (0.14%)	762千株 (9.54%)
金融商品取引業者	19名 (0.39%)	221千株 (2.77%)
その他の法人	55名 (1.13%)	1,291千株 (16.14%)
外国法人等	20名 (0.41%)	186千株 (2.33%)
個人・その他	4,756名 (97.93%)	5,537千株 (69.22%)
合計	4,857名 (100.00%)	8,000千株 (100.00%)

S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
インターネット ホームページURL (よくあるご質問(FAQ))	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード) 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ishimitsu.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。